安易と綿密

(2019年 10月26日号)

巨人軍が奮起にかかげたのは阿部の有終の美を飾る事。
とても安易だなとは思うが他に奮起出来るものも確かになかった。

一方ソフトバンクの奮起は、工藤監督の、俺の
言う通りにやれば必ず勝てるという綿密な作戦を
選手もスタッフも、それを迷わずに実行した事だ。

まさに巨人軍は、お釈迦様の手の平でアエグ孫悟空の如く
巨人のカナメである丸と坂本を完璧に封じた。凄いと思う。
こんなミジメな負け方をした巨人軍など今まで見た事がない。

ミジメ
勝負事が終るまでは誰の頭にもない三文字。
だが終れば99%の人がこの三文字を嫌という程に味わう。
なのに、次の週にはその辛さも忘れで今週こそはと奮起する。

東京ドームが出来る35年程前に
特別な客分として後楽園で予想屋さんをしていた事を前にお話した。
その時につくづくと感じた事は【人の安易な欲望と依存心の強さだ】

後楽園の場外馬券売り場は日本一の規模だけに
まるで蟻の集団の如く、途切れもなくゾロゾロと続いて馬券を買いに来る
何を根拠に　毎週金を捨てにゾロゾロと馬券を買いに来るのだ、と感じた。

ソフトバンクの工藤監督のように、綿密に調べて買いに来てる者など唯の一人も居ない。
誰もが専門家らの予想なのだから、という過信盲信、というズボラな安易で来てるのだ。
自分の努力も思考もなく、想像以上に世の中は　安易な欲望と依存心だけで動いている。

間違いなくミジメに負ける。どこまでそのミジメが続けば自分自身での考えに変るのか。

変らないだろうね
小野ヤスシという芸能人がある競馬番組で私は競馬歴50年ですと自慢げに言いながら
専門家らの予想なんですからと、低配当馬券にしか目が行かない姿を見て 唖然とした。

競馬新聞やネットで予想をし、テレビで能書きタレてる専門家らって、一体、なに
新聞社に勤めてる貴方と同じサラリーマンじやないの(笑)　的中率や回収率、調べた(笑)
貴方が過信盲信している専門家ら自体が、もうすでに借金地獄で、首が回らないのだよ。

このQDNという所には、予想など一切ない。
にも関わらず、会員の大方は、もう20年以上継続している人ばかりだ。
そこに一番注目して、興味を持ってもらいたいと思うのだ。ミジメからの、脱皮の為に。

ドラフトの基準は能力ではなく、知能指数で取らないとダメなのだ？
ピッチャーであれバッターであれ、勝負事で生きる者は、常に頭を使うので
頭の回転の悪い奴ではダメなのだ、従って人の予想で馬券を買う者など、論外。

例えば、10月19日の重賞レースで、断トツ一番人気になって消えた調教師は　だ～れ？
翌日の、10月20日の菊花賞で、1着になった馬の調教師は、だ～れ？ というように頭を使うのだ(笑)
毎週馬券を買う人も買わない人も、ともかく頭脳明晰な人なら、QDNへ一度は来て見るべきだと思う。

舞台裏

（ 2018年 11月17日号 ）

その多くは、ただ目に入るその経過だけを追って一喜一憂するが
天馬はもっと深い所まで知りたいので、その舞台裏までをも調べた上で見る ？

今年のプロ野球は広島が圧倒的で、他の球団は軒並み５割を切るほどに不甲斐なかった。
だが、それほどに強かった広島も、日本シリーズではわずか１勝のみで4連敗して負けてしまった。

セリーグとパリーグでは、こんなにも力の差があったのか、という評価で終ってしまったが
そうじゃない。その舞台裏にはソフトバンクの監督、工藤公康の絶妙な最善策があったのだ。

最善策、と簡単に言ってしまえばそれまでだが
その最善策を産み出したものは想像を絶する工藤の日々の繊細な努力なのだ。

工藤の仕事部屋には
６台のハードディスクと６台のテレビモニターがあって
どこと当たっても良いように12球団の全試合を毎日欠かさずに1年間見ているのだ。

各球団の個々の選手の特徴を入念にチェックし
どのコースが強くて、どのコースが弱いか、また投手の特徴、コーチや監督のクセや性質など
ここまでやるのかという程に、入念にチェックしている指導者など他に見た事がないほどにだ。

なるほど、工藤が200勝投手になる訳だ、監督になる前の現役の時から調べ尽くしているのだ。

だから代打に出す選手に【自信を持ってここを打て】と太鼓判を押せるだけの裏付けがあるのだ。
勿論、投手交代の時でも【自信をもってここへ投げろ】と言うだけの裏付けがあっての事なのだ。

野球選手にケガは付き物、従って選手がケガをした場合の対処法も米国に行って学び
二軍の選手も含め、何に悩み何に迷い何を目指しているのかのコミュニケーションを欠かさない。

コーチも含めた実に蜜なコミュニケーションを一番大事にしていて、けして俺流を押し付けず
チーム、一丸となって一つの方向に向かう。その好例は、広島の丸を徹底的に封じた事でも明白。
そして主力バッターが不信なら打順にこだわらず、何通りものオーダーで立ち向うという最善策。

４勝1敗で、日本シリーズをソフトバンクが勝った裏には、そうした、
ただ目に入るその経過だけでは知り得ない深さがあるのだ。天馬が、ありとあらゆる
勝負事を欠かさずに見るのは、自分へのイマシメの為で、まだまだ俺は甘いのだなと感じる為なのだ。